

オータムフェスタ大盛況

青年部副部長 佐野翔兵

11月4日(日)、南大阪朝鮮初級学校で行われたサザンオータムフェスタは、青年部5名、担当執行委員2名で焼鳥屋とキャラクターすくいを出店しました。こういった青年部の活動は、事前に運営委員会を開催し、当日参加と前日の準備を誰が担当するのか討議しますが、仕事やプライベートの事情もあり、なかなかスムーズに参加者が決まりません。

そこで今回は、私が所属する大阪機船分会の大河内君に、事前に協力をお願いして参加してもらうことにしました。彼の協力のおかげで会議はスムーズになり、オータムフェスタも大盛況に終わり有意義な活動になったと思います。今後は他分会でも同様の取り組み



ができないか聞き取ってみて、出来るようなら青年部のメンバーや執行部の協力も頂きながら、活動の幅を広げられるよう取り組んでみたいと思います。

青年部
だより

青年部がんばっていこう！

青年部部长 林 涼史

11月9日(金)、第33回全港大支青年部定期総会が地本会議室で、青年部新旧役員、青年部、

担当執行委員、総勢29名で開催されました。開会に先立ち横山青年部担当執

行委員、支部代表で國分副委員長の挨拶がありました。その中で、近年各支部の執行委員は世代交代して若い人が活動している所も増えてきて、大阪支部もその時期が近づいている。連帯労組に対しての組合弾圧に国家権力(警察介入)などがある中で若い世代はもっと力を付けなくてはならない。青年部での活動において、いろいろな事を学習するだけでなく、全体を見て自分の判断で活動して、失敗する事もあるけど、その失敗をみんなで共有して自分たちの力にしていって下さいとの激励の言葉を頂きました。

自分たち青年部の活動は先輩方が作ってくれた学習の場所であり、後輩たちに繋げていくためにも、今期私たちがもっと頑張っていけないといけないなと感じました。

一般活動報告、財政報告、運動方針、会計予算案、役員改選を行い、新役員挨拶で1人づつ抱負を述べた後、前青年部長だった松下泰士さん(大正埠頭分会)の、これからも青年部頑張っていこう！の激励の言葉を乗せての「団結カンパロー」で定期総会を締めました。青年部という学習の場で活発な活動を目指して頑張っていきます！

若い力を活かして！



本年度もよろしくお願いします

部	長	林	涼	史	(ス	ミ	サ	ク)
副	部	田	翔	大	(サ	ン	ユ	一)
副	部	野	佳	兵	(大	阪	機	船)
事	務	川	貴	文	(此	花	荷	役)
事	務	玉	崇	人	(杣	木	協	鐵)
運	営	村	亮	介	(此	花	荷	役)
運	営	津	悠	太	(サ	ン	ユ	一)
運	営	藤	亮	太	(大	森	回	漕)
運	営	口	創	一	(大	森	回	漕)
運	営	城	直	樹	(大	阪	正	埠)
運	営	寺	賢	治	(大	阪	正	埠)
運	営	口	勇	次	(大	阪	正	埠)
運	営	野	栄					

だんけつ

第325号 2018年12月3日



発行 大阪港労働組合 関西地方大阪支部
発行責任者 國分仁昭



ともに生きる平和を希求する！

書記長 小林 勝彦

世界で初めて戦争放棄を憲法で宣言した日本国憲法公布72年目の11月3日、大阪市北区の扇町公園で、「輝け憲法！ともに生きる社会を！11・3おおさか総がかり集会」(同実行委員会主催)が開かれ1万2千人が参加した。

「9条改憲ノー」「東アジアに平和を！」のプラカードを掲げ、改憲発議阻止、安倍政権打倒を呼びかけた。

毎年この日に当たり前の様に開催される集会だが、今年は趣向を変えた内容となった。その最大の特徴や目的は、若者に感じてもらいたい、若者が気付かなければ変えられないを目的として、恒例のデモ行進は取りやめ、中央のステージを参加者が囲み4つのテーマで構成した各方面からのスピーチや歌と踊りで参加者全員が、一つになる事を願った4部構成が近年稀に見ない特徴となりました。

オープニングを反原発や9条改憲反対、辺野古新基地反対などを発信する社会派アイドルグループ制服向上委員会のライブ演奏の後、主催者あいさつをした総がかり集会実行委員会共同代表の米田彰男

氏は、憲法9条を守る運動の発展と、朝鮮半島に広がる平和と非核化の動きに触れ、危機をあおって改憲策動を進める安倍政権の行き詰まりを指摘。「3千万署名を広げて、安倍内閣総退陣に追い込もう」と呼び掛け集会がスタートした。



第1部「輝け憲法！9条改憲STOP！」では、立憲民主党、社会民主党、自由党、日本共産党、の野党代表がステージで勢ぞろいして連帯の挨拶をした。

第2部「東アジアに平和を！」では、朝鮮初級学校の子供たちが祖国統一の願いを込めた踊りを披露し、在日団体代表らが、教育無償化や朝鮮半島における戦争終結などの願いを訴えた。

第3部「ともに生きる社会を！」では、原発賠償関西訴訟原告団代

表、森松明希子さんより「日本国憲法のあらゆる条文を駆使して、個人の尊厳を守り抜き、基本的人権の侵害の権化ともいえる原発に対して、その原発事故被害当事者として、これからも、憲法を盾に、全力で訴え続けて参ります。」との力強いアピールがあった。

第4部「辺野古に基地はいらない！」では、沖縄平和運動センターの山城博治議長がゲストスピーチし、玉城デニー県知事誕生の報告から改憲発議と沖縄・辺野古への米軍新基地建設強行を阻止しようと呼び掛けられた。最後には会場一体となり、沖縄の島唄に合わせて伝統舞踊エイサーを踊り、基地のない平和な沖縄への願いを確認し合った。

集会の最後は、実行委員の丹羽徹氏から、立憲主義と議員内閣制、民主主義を破壊し続けてきた安倍政権を厳しく批判。「改憲を阻止し、立憲主義を回復するために、市民と野党の共闘の力で国民の声が届く国会と政府を実現しよう。3千万署名を必ず成功させ、平和憲法と日本の未来を守り抜こう」と呼びかけ集会は終了した。